



図書館だより

令和7年12月号
宇都宮市立清原中学校



清原中学校校内読書週間！

12/8 (月) ~12/19 (金)



テーマ 「いろいろなジャンルの本に挑戦しよう！」

1. 図書委員が選ぶおすすめの本

1・2年生の図書委員が0~8類の分類の中から、みなさんにぜひ読んでほしいおすすめの本を選びました。選んだ本の題名と内容の紹介を図書室の廊下に掲示しますので、ぜひ見てください。図書室には小説以外にも、おもしろそうな内容の本がたくさんありますよ。

2. POPで本を紹介します

前期・後期の図書委員が本のPOPを書きました。図書室の廊下に掲示しましたので、本を選ぶ時に参考にしてください。2年生が昨年度の国語の授業で作成したPOPも何点かあわせて掲示します。分類番号を参考に探してみよう。

3. 「本の福袋」 どんな本が当たるかな？

実施期間 令和7年12月15日(月)～19日(金) お昼休み 図書室



おみくじを引いて、書いてある番号の袋を借りてください。袋の中には図書委員が選んだ本が入っています。小説以外の本が入っていますが、どんな本が入っているのかは開けるまでの楽しみ。おみくじには運勢も書いてあります。ぜひ、運試しに挑戦してみてください！先着30名。おみくじを引けるのはひとり1回までです。

4. 図書委員会からの挑戦状

お昼の放送で問題を出します。

ヒントは図書室のなかにありますので、探してみてください。

解答用紙を図書室の廊下に置きますので、答えを書いてボックスに入れてください。全問正解者にはクリスマスのしおりをプレゼント！



5. 読んで味わおうお菓子本

もうすぐクリスマスですね。

お菓子を食べる機会が多くなると思いますが、図書館にはお菓子にまつわる物語やレシピの本などたくさんあります。歴史や社会問題までお菓子の本を集めてみました。





人権週間 12/4 (木) ~10 (水) 「誰か」のこと じゃない

人権とは、だれもが生まれながらにして持っている幸せに生きる権利です。だれもが尊重され、幸福で平和な生活が送れるようにするために、まず、人権について知ることが大切です。知るための第一歩として、関連の本などを紹介しますのでぜひ読んでください。

①自分にあった読書のカタチ

「読書バリアフリー法」

障がいの有無にかかわらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。図書室では「読みやすさ」をつくる道具や、「バリアフリー図書」を展示しています。様々な形式の図書を体験してください。

(12/4 (木) ~10 (水))

『読書バリアフリー

見つけよう！

自分にあった

読書のカタチ』

読書工房／編著

国土社 01 ド



「読みやすさ」をつくる道具

読書補助具「リーディングトラッカー」

1行ずつ読むのがむずかしい人のための道具です。体験できますので、図書室で使ってみてください。

「バリアフリー図書」を読んでみよう！

○点字付きさわる絵本

○大きな文字の本

○わかりやすい本（Lしブック）



②身近な人権

『きみはどう考える？

人権ってなんだろう 2

考えてみよう、まわりの気持ち』

喜多明人/監修 汐文社 316 キ



意見の合わない人とどうつきあうかなど身近な事例について、自分ならどうするか考えてみましょう。相手の気持ちや意見を大切にできるようになるにはどうしたらよいのでしょうか？

③差別や偏見のない社会

『目で見ることばで話をさせて』

アン・クレア・レゾット/著

岩波書店 933 レ



かつてだれもが手話で話したという実在の島が舞台です。主人公の少女は耳が聴こえませんが、とても豊かな手話で家族や友だちとのコミュニケーションをとっていました。そこに傲慢な科学者がやってきて…。差別や偏見について考えてみましょう。

④メディアリテラシー

『正しく疑う』

池上彰/監修

Gakken 36 イ



今では誰もが情報の発信者です。しかし気を付けないと、加害者、被害者どちらにもなってしまいます。そのようなことにならないために、情報との向き合い方や発し方をわかりやすく解説しています。

*図書室に「人権に関する本のコーナー」をつくりました。紹介した本以外にも「人権」について考える本はたくさんあります。ぜひ、読んでみてください。

